科　目　名	英語コミュニケーションⅠ１			単位数	２	履修区分	必　履　修
対　象　の　部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教　材	Revised COMET English Communication Ⅰ (数研出版)		
履　修　の　条　件	引き続き英語コミュニケーションⅠ２を履修してください。						
先　生　か　ら　の ア　ド　バ　イ　ス	習熟度別のクラスで授業を行います。英語を読む、聞く、書く、話す(発表)、話す(やりとり)のを中心としたさまざまな活動をします。中学校既習事項から丁寧に学習します。						

評　価　の　観　点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観　点　の　内　容		基本的な文法の用法に関する理解をもとに、教科書の内容を理解することができる。 聞いたり読んだりして、内容をとらえることができる。 テーマに沿って、与えられた例を参考に発表したり、意見交換できる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	概要や要点などを目的に応じて捉えることができる。 興味のある事象について、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	概要や要点などを目的に応じて捉えようとしている。 興味のある事象について、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えようとしている。 A評価:授業における態度、提出物の取り組み状況がともに良好である。 B評価:授業における態度、提出物の取り組み状況に努力が伺える。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○
	宿題・提出物	○	○	◎
	単元ﾃｽﾄ・定期考査	◎	○	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	Introduction Get Ready!	・動詞の過去形・進行形の用法に関する理解をもとに、教科書の内容を理解する技能を身につけている。 ・テーマに沿って、与えられた例を参考に発表したり、意見交換したりする技能を身につけている。	・場面や状況に応じて発表するために、情報や考えを整理して書いている。 ・興味のある事象について、情報や考えを整理して発表している。	・自分の考えを述べたり、発表したりするために、必要な情報を積極的に得ようとしている。 ・興味のある事象について、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしようとしている。
	5	定期考査①			
	6	Lesson 1 （過去形）			
	7	定期考査②			
	9	Lesson 2 （進行形）			
後期	10	Lesson 3 （助動詞）	・助動詞・不定詞・動名詞の用法に関する理解をもとに、教科書の内容を理解する技能を身につけている。 ・テーマに沿って、与えられた例を参考に発表したり、意見交換したりする技能を身につけている。		
		定期考査　③			
	11	Lesson 4 （不定詞：名詞用法、形容詞用法、副詞用法）			
	12				
	1				
		定期考査　④			
	2	Lesson 5 （動名詞：主語、補語、目的語として）			
	3				

科目名	英語コミュニケーションⅠ２			単位数	２	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	Revised COMET English Communication Ⅰ (数研出版)		
履修の条件	英語コミュニケーションⅠ１が履修済であること。						
先生からのアドバイス	習熟度別のクラスで授業を行います。英語コミュニケーションⅠ１を基礎として学習を行います。英語の基本的な文法事項を様々な活動を通して学習しましょう。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		基本的な文法の用法に関する理解をもとに、教科書の内容を理解することができる。 聞いたり読んだりして、内容をとらえることができる。 テーマに沿って、与えられた例を参考に発表したり、意見交換できる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	概要や要点などを目的に応じて捉えることができる。 興味のある事象について、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えることができる。 A評価:定期考査の正答率80%以上。授業内活動の達成度が良好。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満。授業内活動の達成度が概ね満足できる。 C評価:Bに到達していない。	概要や要点などを目的に応じて捉えようとしている。 興味のある事象について、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えようとしている。 A評価:授業における態度、提出物の取り組み状況がともに良好である。 B評価:授業における態度、提出物の取り組み状況に努力が伺える。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○
	宿題・提出物	○	○	◎
	単元ﾃｽﾄ・定期考査	◎	○	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	Lesson5 復習	・動詞のthat節・現在完了の用法に関する理解をもとに、教科書の内容を理解する技能を身につけている。 ・テーマに沿って、与えられた例を参考に発表したり、意見交換したりする技能を身につけている。	・場面や状況に応じて発表するために、情報や考えを整理して書いている。 ・興味のある事象について、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしている。	・自分の考えを述べたり、発表したりするために、必要な情報を積極的に得ようとしている。 ・興味のある事象について発表するために、情報や考えを整理して書こうとしている。 ・興味のある事象について、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしようとしている。
	5	Lesson6 (that-節)			
		定期考査 ①			
	6	Lesson7 (現在完了)			
	7	定期考査 ②			
	9	Lesson8 (受け身)	・動詞の受け身・比較・関係代名詞の用法に関する理解をもとに、教科書の内容を理解する技能を身につけている。 ・テーマに沿って、与えられた例を参考に発表したり、意見交換したりする技能を身につけている。		
後期	10				
		定期考査 ③			
	11	Lesson9 (比較)			
	12				
	1				
		定期考査 ④			
	2	Lesson10 (関係代名詞（who / which / that）)			
	3				

科目名	英語コミュニケーションⅡ			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	Revised COMET English Communication Ⅱ (数研出版)		
履修の条件	英語コミュニケーションⅠを履修した後、α(2単位)とβ(2単位)を合わせて履修することが必要です。						
先生からのアドバイス	英語をより発展的に学習したい人におすすめです。英語コミュニケーションⅠがレベルアップしたものと考えてください。大学進学希望者にも向いています。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めることができる。 聞く、読む、話す、書くによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて得た知識を適切に活用できる技能を身につけることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、適切に表現したり伝え合うことができる。 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解することができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、適切に表現したり伝え合おうとしている。 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解するために情報を整理しようとしている。 A評価:授業における態度、提出物の取り組み状況がともに良好である。 B評価:授業における態度、提出物の取り組み状況に努力が伺える。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○
	宿題・提出物	○	○	◎
	単元ﾃｽﾄ・定期考査	◎	◎	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	Lesson１ (want 人 to ～)	・文法の用法に関する理解をもとに、教科書の内容を理解する技能を身につけている。 ・テーマに合わせて、学習した語彙や言語材料、例示されている語句を用いて書く技能を身につけている。 ・テーマに合わせて、与えられた例を参考に発表する技能を身につけている。	・テーマについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ・本文の内容に関連して、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。 ・自分の考えを発表するために、情報や考えを整理して書いている。 自分の考えについて、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしている。	・テーマについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ・本文の内容に関連して、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。 ・自分の考えを述べたり、発表したりするために、必要な情報を積極的に得ようとしている。 ・自分の考えについて、情報や考えを整理して書こうとしている。 ・自分の考えについて、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしようとしている。
	5	Lesson２ (疑問詞 to ～)			
		定期考査　①			
	6	Lesson３ (分詞)			
	7	定期考査　②			
		Lesson４ (if節・疑問詞節)			
	9	Lesson５ (seem)			
後期	10	Lesson６ (助動詞 have 過去分詞)	・文法の用法に関する理解をもとに、英文を理解する技能を身につけている。 ・テーマに合わせて、これまでに学習した語彙や言語材料を用いて書く技能を身につけている。 ・テーマに合わせて、与えられた例を参考に発表したり、意見交換したりする技能を身につけている。		
		定期考査　③			
	11	Lesson７ (過去完了形)			
	12	Lesson8 (関係代名詞 what)			
	1				
		定期考査　④			
	2	Lesson９ (関係副詞)			
	3	Lesson１０ (使役動詞)			

科目名	論理・表現Ⅰ			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ Revised（東京書籍）		
履修の条件	２年次から履修できます。						
先生からのアドバイス	表現基礎を履修後に履修することが望ましいです。英語上級者向けです。英語での話すこと(やり取り)、話すこと(発表)、書くことの3つの領域を中心とした授業です。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		［知識］提案する、依頼する、紹介する、要望や主張を述べる、理由を述べる等の表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］学んだ知識を用いて、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を説得するために自説を補強する理由を述べたり、自説に合った例を挙げたりしている。また、考えや気持ちなどを表現している。 A評価:定期考査の正答率80%以上。授業内活動の達成度が良好。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満。授業内活動の達成度が概ね満足できる。 C評価:Bに到達していない。	自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、相手を説得するために自説を補強する理由を述べたり、自説に合った例を挙げたりしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。 A評価:授業における態度、提出物の取り組み状況がともに良好である。 B評価:授業における態度、提出物の取り組み状況に努力が伺える。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○
	宿題・提出物	△	○	◎
	単元ﾃｽﾄ・定期考査	◎	◎	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	英語で表現するには	［知識］ ・提案する、依頼する、道順を説明する、身近な人を紹介する、聞き手や読み手の注意を引くときときの表現の形・意味・用法を理解している。 ［技能］ ・学んだ知識を用いて、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	・場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりできる。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	・自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、１つのテーマに沿って、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、聞き手や読み手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。
	5	Unit 1 Lesson 1（やり取り） 定期考査 ①			
	6	Unit 1 Lesson 3（発表）			
	7	定期考査 ②			
	9	Unit 1 Lesson 5（やり取り） Unit 1 Lesson 6（書くこと）			
後期	10	Unit 1 Lesson 9（発表） 定期考査 ③	［知識］ ・要望や主張を述べる、理由を述べるときの表現の形、意味・用法を理解している。 ［技能］ ・学んだ知識を用いて、要望や主張を述べる、理由を述べるときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	・場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を説得するために自説を補強する理由を述べたり、自説に合った例を挙げたりすることができる。また、考えや気持ちなどを伝え合っている。	・自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、相手を説得するために自説を補強する理由を述べたり、自説に合った例を挙げたりしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。
	11	Unit 1 Lesson 10（やり取り）			
	12				
	1	Unit 1 Lesson 12（書くこと） 定期考査 ④			
	2	Unit 2 Lesson 5（発表）			
	3	Unit 2 Lesson 1（やり取り）			

科目名	英語基礎			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	グリーン・プレップイングリッシュ［3訂版］（旺文社）		
履修の条件							
先生からのアドバイス	英語コミュニケーションⅠ１・２の基礎として、中学校での学び直しを中心に行います。説明と問題演習を繰り返し、基礎力の定着を目指して学習を進めて行きます。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		基本的な文法の用法に関する理解をもとに、簡単な英文を書いたり、読んだりすることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	多くの支援を活用しながら、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり、文章を書いたりすることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	日常的な話題について、基礎的な語句や文を用いて、話したり、書いたりしながら、学習を進めることができる。 A評価:授業における態度、提出物の取り組み状況がともに良好である。 B評価:授業における態度、提出物の取り組み状況に努力が伺える。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○
	宿題・提出物	○	○	◎
	単元ﾃｽﾄ・定期考査	◎	○	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	英語の単語	・基本的な英単語を覚えることができる。主語＋動詞という英語の語順を理解することができる。代名詞について理解することができる。 ・Be動詞、一般動詞について理解し、その使い分けについて理解できる。また、動詞の過去形について理解できる。	・英語で、聞くこと、読むこと、話すこと、発表すること、書くことの、基本的な事項を学び、学んだことを活用することができる。	・学んだ単語や習得した文法知識を活用して、自分の思いや考えを英語で表現し、相手と情報の共有を図ろうとすることができる。 ・学んだことを活用して、世界の人々や日本人の日常世界つ、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに興味・関心を持って学習に取り組むことができる。
	5	英語の語順			
	6	定期考査 ① 代名詞			
	7	動詞			
	9	定期考査 ② 過去形			
後期	10	否定文 疑問文	・疑問文や否定文の作り方を理解し、日常的な簡単な会話の中で活用することができる。 ・過去形や助動詞の働きについて理解し、簡単な表現について活用することができる。 ・現在完了や不定詞の働きや用法を理解し、簡単な表現について理解し、会話の中で活用するようにすることができる。	・日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり、話し手や書き手の意図などを適格に捉えたり、自分の考えをまとめたりすることができる。 ・伝える内容を整理し、要点や意図を明確にしながら、英語で話したり書いたりして、情報や考えを伝えあう。	・多様な考え方に対する理解を深め、公正な判断力を養い、豊かな心を育てることができる。また、我が国の文化や英語の背景にある文化に対する関心を高め、理解する態度を育むことができる。 ・社会がグローバル化する中で、広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合う、自覚を持つことが出来る。
	11	定期考査 ③ 疑問詞			
	12	進行形・現在完了			
	1	助動詞 定期考査 ④			
	2	現在完了			
	3	不定詞			

科目名	英語基礎		単位数	3	履修区分	必履修
対象の部		夜間部	使用教科書 教材	グリーン・プレップイングリッシュ［3訂版］（旺文社）		
履修の条件						
先生からのアドバイス	英語コミュニケーションⅠ１・２の基礎として、中学校での学び直しを中心に行います。説明と問題演習を繰り返し、基礎力の定着を目指して学習を進めて行きます。					

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	基本的な文法の用法に関する理解をもとに、簡単な英文を書いたり、読んだりすることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	多くの支援を活用しながら、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり、文章を書いたりすることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	日常的な話題について、基礎的な語句や文を用いて、話したり、書いたりしながら、学習を進めることができる。 A評価:授業における態度、提出物の取り組み状況がともに良好である。 B評価:授業における態度、提出物の取り組み状況に努力が伺える。 C評価:Bに到達していない。
評価方法 学習状況の観察	○	○	○
評価方法 宿題・提出物	○	○	◎
評価方法 単元ﾃｽﾄ・定期考査	◎	○	○
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	英語の単語	・基本的な英単語を覚えることができる。主語＋動詞という英語の語順を理解することができる。代名詞について理解することができる。 ・Be動詞、一般動詞について理解し、その使い分けについて理解できる。また、動詞の過去形について理解できる。	・英語で、聞くこと、読むこと、話すこと、発表すること、書くことの、基本的な事項を学び、学んだことを活用することができる。	・学んだ単語や習得した文法知識を活用して、自分の思いや考えを英語で表現し、相手と情報の共有を図ろうとすることができる。 ・学んだことを活用して、世界の人々や日本人の日常世界つ、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに興味・関心を持って学習に取り組むことができる。
	5	英語の語順			
	6	定期考査 ① 代名詞			
	7	動詞			
	9	定期考査 ② 過去形			
後期	10	否定文 疑問文	・疑問文や否定文の作り方を理解し、日常的な簡単な会話の中で活用することができる。 ・過去形や助動詞の働きについて理解し、簡単な表現について活用することができる。 ・現在完了や不定詞の働きや用法を理解し、簡単な表現について理解し、会話の中で活用するようにすることができる。	・日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり、話し手や書き手の意図などを適格に捉えたり、自分の考えをまとめたりすることができる。 ・伝える内容を整理し、要点や意図を明確にしながら、英語で話したり書いたりして、情報や考えを伝えあう。	・多様な考え方に対する理解を深め、公正な判断力を養い、豊かな心を育てることができる。また、我が国の文化や英語の背景にある文化に対する関心を高め、理解する態度を育むことができる。 ・社会がグローバル化する中で、広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合う、自覚を持つことが出来る。
	11	定期考査 ③ 疑問詞			
	12	進行形・現在完了			
	1	助動詞 定期考査 ④			
	2	現在完了			
	3	不定詞			

科目名	表現基礎			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	Speak Up Now! （数研出版）		
履修の条件							
先生からのアドバイス	基本的な文法や簡単な会話表現を定着させ、英語を話すこと・自分の意見を相手にわかりやすく伝えることを目指し、簡単な表現を使った初歩的な授業です。会話練習，短い文章を書くことを通して、初歩的・基本的な英語の発信力を習得しましょう。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	基本的な文法や会話表現に関する理解をもとに、テキストの内容を理解することができる。 各単元で学習した表現をもとに、与えられたテーマに沿って簡単な会話文を作ったり、ペアで会話をすることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	学習した会話表現を参考にして、場面や状況に応じて発表するために、情報や考えを整理できる。 自分の考えを整理して文を作ったり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	学習した会話表現を意識して、自分の考えを伝え合ったり、発表したりするために、必要な情報を積極的に得ることができる。 自分の考えを整理して文を作ったり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えることができる。 A評価:授業における態度、提出物の取り組み状況がともに良好である。 B評価:授業における態度、提出物の取り組み状況に努力が伺える。 C評価:Bに到達していない。
評価方法 学習状況の観察	○	○	○
評価方法 宿題・提出物	○	○	○
評価方法 単元ﾃｽﾄ・定期考査	◎	◎	◎
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	Lesson1 （自己紹介ができる）	・callを使った表現、指示語、like / don't likeの表現、連絡のやり取り、進行形、比較に関する理解をもとに、テキストの内容を理解する技能を身につけている。 ・テーマに沿って、簡単な会話文を作ったり、ペアで会話をする技能を身につけている。	・学習した会話表現を参考にして、場面や状況に応じて発表するために、情報や考えを整理して書いている。 ・自分の考えを整理して発表したり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えあったりしている。	・学習した会話表現を意識して、自分の考えを伝え合ったり、発表したりするために、必要な情報を積極的に得ようとしている。 ・自分の考えを整理して文を作ったり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えあおうとしている。
		Lesson2 （指示語が使える）			
	5	Lesson3 （好き嫌いを言える）			
	6	Lesson4 （連絡のやり取り）			
	7	定期考査　②			
		Lesson5 （今していること）			
	9	Lesson6 （複数のものを比べる）			
後期	10	Lesson7 （できることを伝える）	・canを使う表現、should / must / have toの表現、過去形、現在完了形、受動態に関する理解をもとに、教科書の内容を理解する技能を身につけている。 ・テーマに沿って、簡単な会話文を作ったり、ペアで会話をする技能を身につけている。	・学習した会話表現を参考にして、場面や状況に応じて発表するために、情報や考えを整理して書いている。 ・自分の考えを整理して発表したり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えあったりしている。	・学習した会話表現を意識して、自分の考えを伝え合ったり、発表したりするために、必要な情報を積極的に得ようとしている。 ・自分の考えを整理して文を作ったり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えあおうとしている。
		Lesson8 （手伝ってほしいこと）			
	11	Lesson9（するべきことについて述べる）			
	12	Lesson10 （予定や意向を伝える）			
	1	Lesson11 （完了したことを話す）			
		定期考査　④			
	2	Lesson12 （経験したことを話す）			
	3	Lesson13 （「～される」という受け身の表現ができる）			

科目名	表現基礎			単位数	3	履修区分	必履修
対象の部			夜間部	使用教科書 教材	Speak Up Now! （数研出版）		
履修の条件							
先生からのアドバイス	基本的な文法や簡単な会話表現を定着させ、英語を話すこと・自分の意見を相手にわかりやすく伝えることを目指し、簡単な表現を使った初歩的な授業です。会話練習，短い文章を書くことを通して、初歩的・基本的な英語の発信力を習得しましょう。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	基本的な文法や会話表現に関する理解をもとに、テキストの内容を理解することができる。 各単元で学習した表現をもとに、与えられたテーマに沿って簡単な会話文を作ったり、ペアで会話をすることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	学習した会話表現を参考にして、場面や状況に応じて発表するために、情報や考えを整理できる。 自分の考えを整理して文を作ったり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	学習した会話表現を意識して、自分の考えを伝え合ったり、発表したりするために、必要な情報を積極的に得ることができる。 自分の考えを整理して文を作ったり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えることができる。 A評価:授業における態度、提出物の取り組み状況がともに良好である。 B評価:授業における態度、提出物の取り組み状況に努力が伺える。 C評価:Bに到達していない。
評価方法 学習状況の観察	○	○	○
評価方法 宿題・提出物	○	○	○
評価方法 単元ﾃｽﾄ・定期考査	◎	◎	◎
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	Lesson1 （自己紹介ができる）	・callを使った表現、指示語、like / don't likeの表現、連絡のやり取り、進行形、比較に関する理解をもとに、テキストの内容を理解する技能を身につけている。 ・テーマに沿って、簡単な会話文を作ったり、ペアで会話をする技能を身につけている。	・学習した会話表現を参考にして、場面や状況に応じて発表するために、情報や考えを整理して書いている。 ・自分の考えを整理して発表したり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えあったりしている。	・学習した会話表現を意識して、自分の考えを伝え合ったり、発表したりするために、必要な情報を積極的に得ようとしている。 ・自分の考えを整理して文を作ったり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えあおうとしている。
		Lesson2 （指示語が使える）			
	5	Lesson3 （好き嫌いを言える）			
	6	Lesson4 （連絡のやり取り）			
	7	定期考査　②			
		Lesson5 （今していること）			
	9	Lesson6 （複数のものを比べる）			
後期	10	Lesson7 （できることを伝える）	・canを使う表現、should / must / have toの表現、過去形、現在完了形、受動態に関する理解をもとに、教科書の内容を理解する技能を身につけている。 ・テーマに沿って、簡単な会話文を作ったり、ペアで会話をする技能を身につけている。	・学習した会話表現を参考にして、場面や状況に応じて発表するために、情報や考えを整理して書いている。 ・自分の考えを整理して発表したり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えあったりしている。	・学習した会話表現を意識して、自分の考えを伝え合ったり、発表したりするために、必要な情報を積極的に得ようとしている。 ・自分の考えを整理して文を作ったり、クラスメートとの会話や発表を通じて質問や感想を伝えあおうとしている。
		Lesson8 （手伝ってほしいこと）			
	11	Lesson9（するべきことについて述べる）			
	12	Lesson10 （予定や意向を伝える）			
	1	Lesson11 （完了したことを話す）			
		定期考査　④			
	2	Lesson12 （経験したことを話す）			
	3	Lesson13 （「～される」という受け身の表現ができる）			

科目名	中国語			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	《新版》中国語10課 （白水社）		
履修の条件							
先生からのアドバイス	中国語を初めて学習する人向けの講座です。中国語の音を聞くこと、恥ずかしがらずに大きな声で発音すること、これが発音が上手になるコツです。ペアワークなどの練習に積極的に参加しましょう。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		基本的な文法の用法に関する理解をもとに、簡単な文を書いたり、読んだりすることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	多くの支援を活用しながら、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり、文章を書いたりすることができる。 A評価:定期考査の正答率が80%以上である。 B評価:定期考査の正答率が30%以上80%未満である。 C評価:Bに到達していない。	日常的な話題について、基礎的な語句や文を用いて、話したり、書いたりしながら、学習を進めることができる。 A評価:授業における態度、提出物の取り組み状況がともに良好である。 B評価:授業における態度、提出物の取り組み状況に努力が伺える。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	学習状況の観察	○	○	◎
	宿題・提出物	○	○	○
	単元ﾃｽﾄ・定期考査	◎	◎	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	オリエンテーション 入門 発音	・中国語の基本的文型、文法を理解し、それらを正しく使うことができる。 ・初歩的な中国語の構文をしっかり身につけ、言葉にまつわる中国の文化も理解している。	・簡単なあいさつ言葉や自己紹介など初歩的な表現を中国語で話したり、書いたりすることができる。	・難しいとされる中国語の発音と中国語独自の四声に興味を持って、積極的に声を出して練習する。
	5	第1課 定期考査 ①			
	6	第2課			
	7	定期考査 ②			
	9	第3課 第4課			
後期	10	第5課 定期考査 ③	・これまでに学習した中国語の基本的文型、文法を理解し、日常会話程度の文章を読んで理解することができる。 ・助動詞などを伴う構文や、やや難しい表現を理解し、日常のいろいろな場面で正しく使うことができる。 ・言葉と切り離せない文化的背景を理解している。	・これまでに学習した中国語の文法、文型、語彙を使って、日常のいろいろな場面で表現することができる。 ・日常よくある話題について、新しく学習した表現を使って話したり、書いたりすることができる。	・やや難しい文法や中国語独特の表現を理解しようとする。単語を覚えるためのカードゲームに積極的に参加する。 ・願望、可能、経験などを表す高度な表現を理解しようと努力し、具体的な日常生活場面を想定した会話練習に積極的に参加する。
	11	第6課			
	12	第7課			
	1	第8課 定期考査 ④			
	2	第9課			
	3	第10課			